

あえて険しい道に挑む

挑戦することに、ずいぶん悩み、迷いました。

そして、市民の皆さまが困っておられることを知りながら、単なる批判者や傍観者にとどまることはできないという結論に達しました。

現在の市政に、市民の皆さまの声は届いていません。

公的な援助やお金は、市民の皆さまに平等にいきわたることが最も大切です。

それなのに、現実には、一部の声の大きな人たちに支配され、その人たちに多くの利益をもたらし続けています。

他の多くの市民の皆さまに、本来もたらされるはずの利益は行き届いていないのです。

このような弊害を取り除き、豊かな直方を次の世代につなぐために、公平・公正・透明な市政を実現しなければなりません。

そのために、私は、あえて険しい道に挑みます。

市民の皆さま、どうか私に力を貸してください。

100年先を見据えた豊かな直方をつくってまいります。

みぶ たかあき



みぶ たかあき プロフィール

- 昭和27年 直方市生まれ
直方市立上頓野小学校、直方市立第二中学校、
福岡県立鞍手高等学校、中央大学、同大学院
- 平成元年 検事となる
- 平成27年 弁護士登録
- 平成27年 直方市長（～同31年）
- 平成31年 弁護士活動に専念
パワハラ被害訴訟、住民訴訟など常に住民や被害者の
立場で弁護活動に従事
狭山事件再審弁護団に参加（～現在に至る）



ホームページをご覧ください

みぶたかあきホームページ

検索

<https://mibutakaaki.com/>

HomePage

みぶたかあき後援会 事務所

〒822-0027 福岡県直方市古町1-23

電話:0949-28-7888・080-8371-6208

FAX:0949-28-7882

討議資料

みぶ たかあき

※は、直方市初

「みぶ」の実績



文化

- ※ 上野英信氏関連書籍の贈与を受け、現代版「筑豊文庫」の発足
- ※ 石炭記念館など石炭関連施設の国史跡の指定
- ※ 坑夫の像を石炭記念館に移設を決定
- ※ 旧直方駅舎の車寄せを駅前に設置保存を決定
- ※ 伝統芸能に対する補助金支援
- ※ 九州大学学生とのまちづくり共同研究活動の発足

教育

- ※ 高校生の給付型奨学金の創設
- ※ 小中学生の国際キャンプ参加事業と音楽創作活動の創設
- ◎ 水辺館・川づくり交流会の学生の世界水フォーラム大会参加への支援

福祉

- ※ 手話言語条例の制定
- ※ 障がい者差別解消条例の制定
- ※ 更生保護への積極的関与

財政

- ※ N-biz 開設
- ◎ 上頓野工業団地に企業誘致して完売
- ◎ ふるさと納税による自主財源の増大(15億円)

市役所改革

- ◎ 市役所窓口の市民の皆さまへの応接・対応の改善
- ※ 市営住宅入居の弊害を取り除く
- ※ 職員の天下り禁止条例の制定
- ※ 職員の中央省庁などへの派遣
(総務省、農林水産省、国土交通省、衆議院法制局、九州国立博物館、JR九州、トヨタ自動車九州)
- ※ 行政に対する暴力行為の防止
- ※ 女性副市長の登用
- ※ 弁護士2名を職員として任用し、市民の皆さまへの無料法律相談を拡充

未来の豊かな直方のために

決断と実行

公平 平等な市政

公正 かたよりのない正しい市政

透明 見える市政

まずは
市長給料半減し、
福祉、教育、文化を
支援します。

「みぶ」が目指す4つの基本方針

1 育つ人と育てる人の支援の拡充

幼児期から高齢者まで学ぶ意欲のある人を支援し、保護者から教員まで育てる人の負担を軽減します

2 市民の皆さまの命と生活を守るセーフティネットの拡充

自分の力だけではどうすることもできない困難に直面した方々のために、誰一人として取り残されることのない、みんなで幸せになる福祉社会を実現します。そのために人と人とのつながりを支援します。

3 直方市の事業に、直方の企業・事業者が積極的に参加する

直方には歴史に培われた底力があります。地元の企業や農業などの事業者はまさにこの底力です。この底力で直方の事業を推進し、直方のお金(予算)が直方で循環していく仕組み(経済の地産地消)を目指します。

4 削る力と稼ぐ力で財政を強化し、福祉・教育・文化を充実

自ら使えるお金を削り出し、稼ぎます。削る力として**市長給料を半減**し、副市長・教育長の給料も減額します。稼ぐ力として、ふるさと納税をさらに活性化します。

